

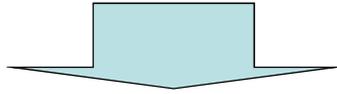
しょくぶつひょうほん 植物標本 を作ろう



鹿児島県
森林技術総合センター

植物標本は何のために作るの？

植物をくさらすことなく，形をのこせる



- 学校では
 - 植物の名前を調べる（おぼえる）ことができる
 - ほかの人から名前を教えてもらえる
- はくぶつかんや大学では
 - 植物がそこに生えていたしょうこになる
 - 初めて発見した植物の名前をつけることができる

植物標本ってどんなの？



標本の大きさは，新聞紙の2つ折りの大きさがめやす

花や実，根のついたものがよい
葉や花の色はおちてもかまいません

かわいたおし葉をテープで台紙にはりつけています

植物の名前や採集（さいしゅう）場所などを書いたラベルが台紙の右下にあります

植物標本を作るには

- 採集（さいしゅう）する場所を決める
- 外で採集して持ち帰る
- 新聞紙にはさんで乾燥（かんそう）させる
- 名前を図鑑（ずかん）で調べる
- 台紙にはってラベルをつける
- 保存（ほぞん）する 学校に提出する

植物採集に出かけよう

でも、その前に・・・

- 採集のもくてきをはっきりさせよう。たとえば・・・
「〇〇に生える植物」，「〇〇に生える木 30種」
「夏に花のさく木」とか・・・

できるだけ、テーマをしぼった方が、植物を採集しやすいし、整理（せいり）して学校にも出しやすい

植物を採集しよう（1）

植物を入れる大きな
ビニール袋（黒色はし
おれやすい）

枝を切るせん定ばさみ
草を根からほり取る道具



水を少しビニール袋のなかにふりかけると、しお
れにくくなります。

植物を採集しよう（2）



木は枝から切り取って、
草はなるべく根をつけて
採集しよう



植物をはさむ新聞紙
や台紙のサイズを考
えて、できるだけ大
きく採集しよう

植物を採集しよう（3）



採取する大きさは、新聞紙の2つ折りの大きさ

花や実が、植物の名前を調べるときに役立ちます。

花や実のついている枝，虫くいのない葉のついている枝を見つけて採集しよう

植物を採集しよう（4）



草はできるだけ根もつけよう。根は洗ってから新聞紙にはさもう。



小さな植物は、同じものをいくつか採集しよう。

こんな採集はダメ (5)

悪い例



小さく採集している。

良い例



新聞紙いっぱい採集すること

こんな採集はダメ (6)

悪い例



葉が大きいからといって、葉1枚だけの採集はダメ

良い例



枝をつけて、葉も数枚つけて採集しよう

こんな採集はダメ (7)

これは枝
ではなく、
葉の一
部

悪いとり方



これが1枚の葉

これは葉の一部

どこからが1枚の葉か、
注意して採集しよう

良いとり方



これが枝

枝に何枚かの葉をつけて
採集しよう

こんな採集はダメ (8)

悪い例



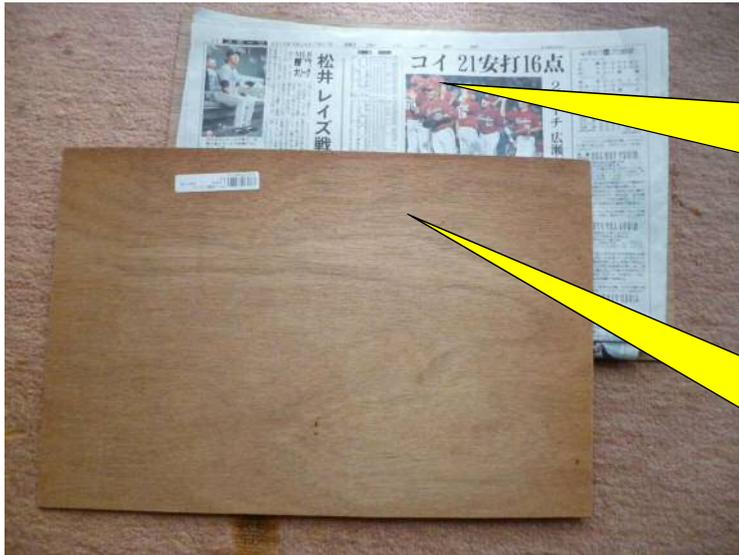
シダ植物は、かならず
根元をつけて採集しよ
う

良い例



葉のうらの胞子（ほうし）
が見えるように標本をつく
ろう。折りまげてもOK

植物を乾燥させよう（1）



新聞紙は2つ
おりの大きさに
使います

板の大きさも
新聞紙2つ折
りの大きさ

採集した植物をはさんだり，水分を吸い取るための新聞紙と，標本を押さえる板を2枚準備します

植物を乾燥させよう（2）



この新聞紙の大き
さが標本の大き
さになります

植物をはさむ新聞紙は，大きく広げてから長く2つ折りにすると，手で真ん中から簡単に切れます

植物を乾燥させよう（3）



採集した植物の水分を吸い取る新聞紙（吸水紙）

採集した植物をはさむ新聞紙（はさみ紙）

半分に切った新聞紙（1枚）に、標本にしたい形にととのえてからはさみます。

植物を乾燥させよう（4）

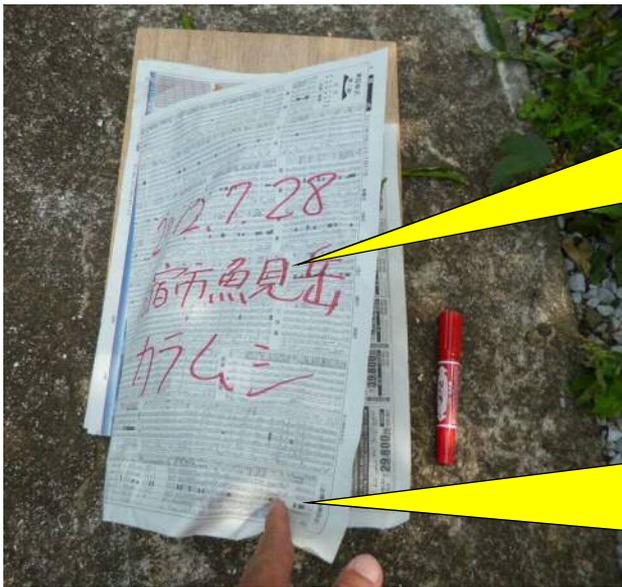


葉のうらがどのようになっているか、植物の名前を調べるときに必要なので、何枚かの葉をうらがえます。

ラベルをはる右下はあけておきましょう

台紙にはりつきたい形にととのえてからはさみます。

植物を乾燥させよう（5）



採集日と採集地，名前は，標本のラベルを作成するのに，必要です。

採集した植物をはさんだ新聞紙は，台紙に植物をはりつけるまで，とりかえません。

植物をはさむ新聞紙（はさみ紙）に，採集日と採集地を記入します。名前はわかった時に書きましょう

植物を乾燥させよう（6）

悪い例



違う種類の植物を同じ新聞紙にはさまない。

良い例



植物も採集場所も同じなら，同じ台紙にはれるのでOK

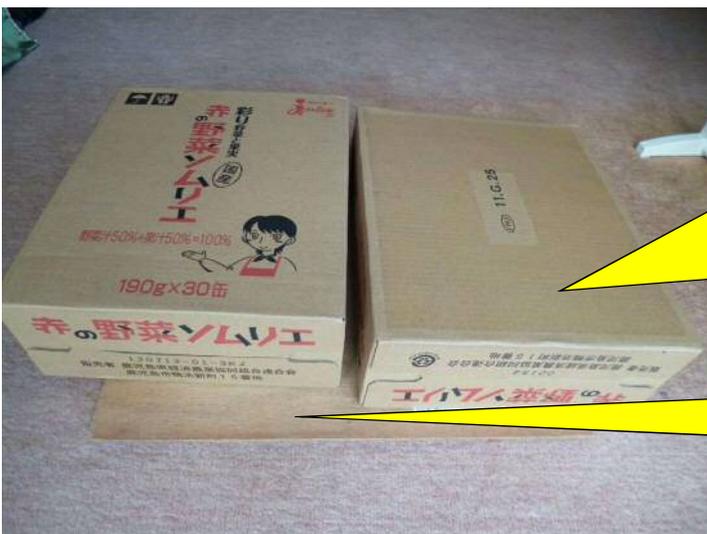
植物を乾燥させよう（7）



水分を吸い取る新聞紙は、2つに切らないものを数枚(1日分くらい)重ねたものを使います。

植物をはさんだ新聞紙の上に、水分を吸い取るための新聞紙を重ねます。またその上に植物をはさんだ新聞紙を重ねます。このくりかえしです。

植物を乾燥させよう（8）

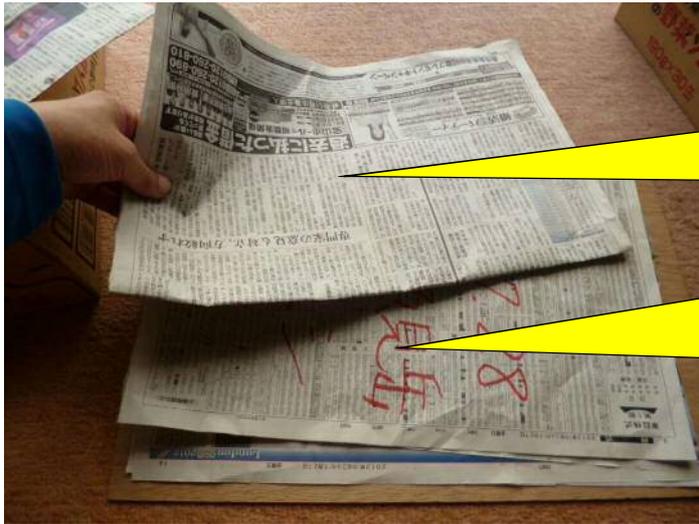


おもしろは、石や重たい本などをのせます。ここでは、カンジュースのケースをのせました。

板。この下に新聞紙があります。

植物をはさんだ新聞紙と水分を吸い取る新聞紙をたがいちがいに重ね、いちばん上に板をおき、その上におもしろをのせます。

植物を乾燥させよう（9）



水分を吸い取る新聞紙だけを毎日とりかえます。

植物をはさんだ新聞紙はとりかえません。とりかえたら、またおもしろいものをのせます。

水分を吸い取る新聞紙は、はじめは毎日とりかえます。1週間ぐらいしたら2日おきでとりかえ、3週間ぐらいすればかわきます。

植物を乾燥させよう（10）



葉が折れたり、ひどく重ねあったりしている部分(ぶぶん)があります。

葉をおした次の日、はじめて新聞紙をとりかえる時は、かならず植物をはさんだ新聞紙を開いてみましょう。

植物を乾燥させよう (11)



折れていた葉を広げました。
ピンセットがあれば、こまかい作業がしやすいです。

葉のやわらかいうちに、標本としてのきれいな形にととのえます。かわいてからととのえると折れ目ができたり、ポキッと折れたりします。

植物の名前を調べよう (1)



専門(せんもん)の図鑑は、〇〇科ごとに全国の植物がたくさんのもっています。調べようとする植物が、何のなかまか見当もつかなければ、調べにくい。

図鑑(ずかん)は、木、草、シダに分かれています。調べたい植物がどれなのかで図鑑をえらびます。

植物の名前を調べよう（2）



葉のとくちょう別にまとめたり，なかまごとにまとめたポケット図鑑は使いやすい。

植物の名前を調べよう（3）



全国で売られているポケット図鑑よりも，かごしまに生えている植物がのっている図鑑が使いやすい。

標本を台紙にはりつけよう (1)

台紙の大きさは、
新聞紙の2つ折
りの大きさ
(よこ27cm,
たて39cm)



標本をはり付けた台紙を個別に入れるポリ袋
(No.14)もあります

台紙は、新聞紙2つ折りくらいのもので、厚めのものを使います

標本を台紙にはりつけよう (2)



指さきでさわっても、
まがったりしなければ、
台紙にはりつける
ことができます。

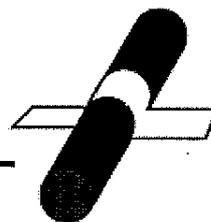
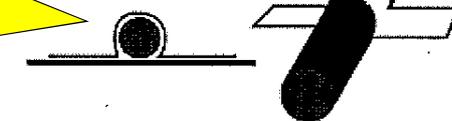
かわいた標本の葉は、手にもってピンとしています。完全にかわいていないと、葉やくきがたれさがります。

標本を台紙にはりつけよう (3)

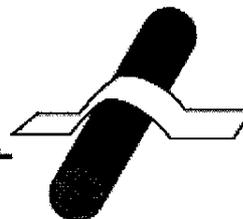


すきまなく、しっかりと貼ると標本が動きません

良いはりかた



悪いはりかた



台紙にはコピー用紙を5mmの幅に切った紙テープに合成のりをつけてはります

右下にラベルをはる部分を残して台紙にはります。セロハンテープやガムテープは使いません。

標本を台紙にはりつけよう (4)



植物名：図鑑で調べてカタカナで書く
採集地：なるべく詳しく
採集日： 年 月 日
採集者：

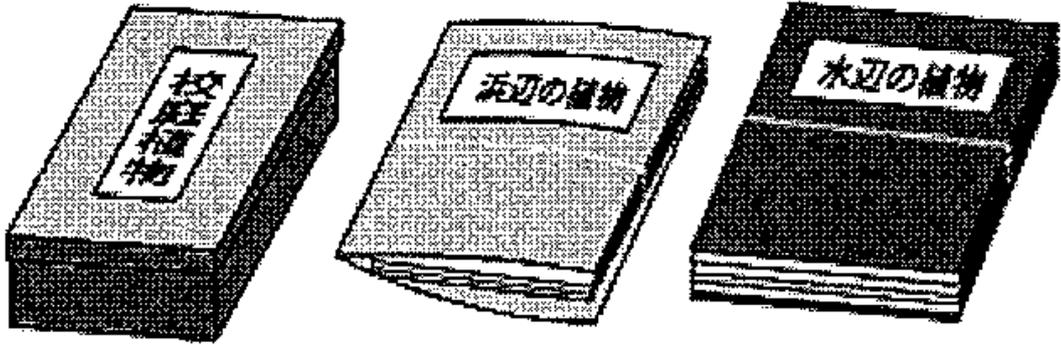
ラベルの例

科名：○ ○ 科（図鑑で調べて）
種名：植物名と同じ
採集地：なるべく詳しく
採集日： 年 月 日
採集者：

植物の名前や採集地などをラベルに書いて、台紙の右下にはりつけたら、できあがり。

学校への提出

採集地・生育地別の整理



たとえば、ナイロン袋のなかに、標本と虫よけのナフタリンを入れ、適当な大きさの箱に入れたり、ファイルにはさんだりします